

昭和 SPレコードで逃れば

政見レコード 〔その二〕

SPレコード収集家 ■ 城内 實

(一)

昭和三年六月四日、奉天郊外

大蔵大臣は井上準之助、陸軍大臣は宇垣一成であった。

(二)

井上準之助は、日銀出身で浜口内閣の大蔵大臣になつた直後に民政党に入党し、大蔵大臣として緊縮財政を進め、金解禁を断行した人物である。

緊縮財政の「きんしゆく」は当時の流行言葉であつたらしく、昭和四年十一月には北原白秋作詩、山田耕筰作曲の「緊縮の歌」、また、同年十二月には「きんしゆく節」という歌が日本コロムビアから発売されている。なお、「緊縮の歌」を歌つた内田栄一は、「月月火水木五金」(昭和十五年)の歌手として有名である。

総選挙前の一月二十五日には、政友会總裁の犬養毅首相、民政党總務の井上準之助、同党幹事長の永井柳太郎がそれぞれ日本コロムビアに選挙演説を吹き込んだ。井上準之助の演題は「危

い哉！国民経済」である。手元にそのレコードがあるのでその内容を簡単に紹介する(いずれも音盤からの筆者の聞き取り)。

まず、冒頭井上は、「諸君、犬養内閣は、組閣直後、禁輸出再禁止を断行しました。浜口内閣成立以来、二年有半、国民とともに非常に忍耐と努力によってようやく建設いたしました

金本位制度を一朝にして破壊しそうなことがあります。日本の財界の根本には、何ら金の再禁止

の京奉線と満鉄の交差点で張作霖の乗つた北京からの特別列車が関東軍参謀河本大作の謀略により爆破され、張作霖は死亡した。当時の田中義一首相は、結局関係者を厳罰に処することができず、昭和四年六月に昭和天皇に上奏した際に、陛下に前回の上奏との矛盾を指摘され、その信任を失つたとして総辞職することとなつた。その衝撃からか、田中義一は九月に狭心症でこの世を去つた。

そのあと成立した民政党の浜口雄幸内閣は、国際協調と緊縮財政を目指したが、海軍軍縮を巡る統帥権干犯問題や世界恐慌で行き詰まることになる。浜口内閣の外務大臣は幣原喜重郎、

井上大蔵大臣のいわゆる井上財政は、正統派の経済政策であ

つたが、不幸なことに昭和五年十月のウォール街の株価大暴落によって世界恐慌がはじまり、日本も大恐慌の波にさらされた。その結果、東北の農村では、娘の身売り、欠食児童が続出した。兵卒の大部分は貧農か労働者階級の出身であり、青年将校はこうした兵卒を通じて、国民全体の悲惨な経済生活の実状を知り、多情にして多感な彼らは、この社会的窮状が政党政治の腐敗によるものと断定し、革新的な思考を持つようになってくる。実際、昭和六年には橋本欣五郎らが相次いで起こる(「三月事件」、「十月事件」)。

(三)

その後、昭和六年十二月に、第二次若槻内閣が総辞職し、政

友会の大養毅が首相になり、大蔵大臣に高橋是清が起用された。高橋蔵相は、金輸出を直ちに禁止し、犬養内閣は議会を解散し、昭和七年二月に総選挙が行われた。選挙戦で、政友会は、不景気の民政党か景気の政友会かと国民に訴えた。

を決行しなくてはならない懸念はなかつたのであります。」と述べ、高橋財政を痛烈に批判している。

続けて、「犬養内閣は、（中略）乱暴にも金の輸出禁止を決行したのであります。その結果は、一方には一部の恩恵者に莫大な利益を与え、他方には金本位制を破壊し、財界を不安ならしめ、国民の利益を犠牲に供したのであります。これは全く犬養内閣政治の結果であります。

諸君、政治の結果がかくのごとく不公平な、不合理な事実を国民の前に現しておいて、しかし國民思想の善導を唱える資格がありましょか。私はこれは政治道徳に反すること大なるものと考えます。」と述べている。

最後に、井上は、「諸君、民政党は元来はじめに建設的に努力してきたものであります。政友会は反対に不眞面目に破壊をすから、私は、諸君の公平なる第であります。」と述べ締め括

つてゐる。

(四)

これに対して、政友会の高橋是清大蔵大臣は、「金輸出再禁止に就て」を太陽レコードに吹き込んで、井上に対抗している。

まず、高橋は、「金輸出禁止の結果、外國為替相場は動搖して貿易上に不便なりとの説をなすものもありますが、元來為替相場はその国の生産力によって維持せらるるものでありますから、この生産力の涵養に最も注意を要するのであります。（中略）ことに今日我が国民の過半数は、地方農民、漁民、または都會地の中小商工業者であります。これらの人々は終日嘗々として働いて、わざかに一身一家を養つておる。これらの人々は為替相場の動きを直接苦にすることは少ないのであります。ゆえに外國為替のことのみ注意すれば足りりとする政策は根本においてまちがつておるのであります。自國の産業を発達せしむ

高橋是清は井上前蔵相の主張に反論している。

「第一としなければなりません。」こう述べて、

そして最後に、「現内閣は断固として組閣と同時に金の輸出を禁止したのであります。すなわち、これがため改むる経済上の基礎が出来たものと信じます。さりながら、わが国経済界の回復はなかなか容易の行ではありません。否、前途極めて多難であります。といねがわくば今後日本国民たる者は我等とともに、堅実なる方針の下に、勤勉力行使もつてこの難局の打開に努められんことを敢えて切望する次第であります。」と結んでい



(五)

民政党的次期党首の有力候補であつた井上準之助はレコード吹き込み直後に血盟団員によつて暗殺され、また、その三ヶ月のうちに犬養毅首相が五・一五事件で犠牲となり、ついに、政党政治は終わりを告げる。

さらにその四年後には高橋是清も一・二六事件で暗殺された。昭和天皇の意に反して行われたこうした一連のテロ、クーデタ事件は、その後の日本政治に暗い影を落すことになる。

